

## 平成 27 年度 施策評価シート

|      |  |                  |     |  |           |
|------|--|------------------|-----|--|-----------|
|      |  |                  | 作成日 |  | H28.11.30 |
| 基本姿勢 | 2  | 地域資源を活かした「産業のしま」 |     |  |           |
| 政 策  | 1  | 水産業の振興           |     |  |           |
| 基本方針 | 水産資源の維持・回復のため栽培漁業や漁場管理型体制を推進し、漁業経営安定のための各種施策に取り組みます。また、漁業の将来を担う人材や養殖業の育成を図るとともに、資源増殖と沿岸環境の保全を目指す漁場づくりを推進します。併せて、各関係機関と連携して、漁村地域の活性化、水産業の振興を図り、持続的発展を目指します。 |                  |     |  |           |

|       |  |               |         |  |
|-------|--|---------------|---------|--|
| 基本施策  | 2-1-①  | 漁業の将来を担う人材の育成 |         |  |
| 主管課名  | 水産課  | 所属長名          | 石 司 泰 栄 |  |
| 関係課名  |  |               |         |  |
| 1 次評価 | 基本施策の評価  |               |         |  |
|       | <p>○新規就業者への支援体制整備、地域を支える漁業者や将来を担う人材の育成</p> <p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県漁業就業者確保育成総合対策事業を利用して、漁業技術の習得等を実施する新規就業者に対する生活費や資材購入費の助成と指導者に対する謝礼金の助成を行った。支援者数：5名</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業が継続していけるだけの漁業所得の確保と、町外出身者などが居住する住宅の確保、整備が課題となっている。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国、県の支援制度と連携して、意欲ある漁業就業希望者の受入れ先の調整に努め、引き続き新規就業者の支援事業を継続する。</li> </ul> |               |         |  |
|       | <p>○沖合漁業の振興を図り、雇用の確保</p> <p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町としての具体的な支援はできていないが、全国漁業就業者確保育成センター等において、まき網漁業従事者の就業の情報発信を行っている。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一度漁に出れば2週間程度は帰港しないなど労働条件が厳しいため、新規の就業者の確保に苦労している。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県、漁協等関係機関と協力して就業情報の提供等を行いながら従事者の確保に努めていく。</li> </ul>   |               |         |  |
| 2 次評価 | 新規就業者の独立を支援し漁業の担い手の確保を図るため、意欲ある漁業就業希望者の受け入れ先の調整など、サポート体制を更に充実させ、引き続き、各漁協と連携して担い手の育成、確保に努めていくこと。  |               |         |  |

|      |  |               |         |
|------|--|---------------|---------|
| 基本施策 | 2-1-②  | 水産資源の維持と里海の再生 |         |
| 主管課名 | 水産課  | 所属長名          | 石 司 泰 栄 |
| 関係課名 |  |               |         |
| 1次評価 | 基本施策の評価  |               |         |
|      | <p>○根付魚介類の放流、栽培センターを活用した栽培漁業の計画的・効率的推進</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五島列島栽培漁業推進協議会において実施している放流事業のなかで、比較的回遊性が少ないクエ6,800尾を町内5箇所に放流した。また、町栽培漁業推進協議会が管理する施設で生産したアワビ・サザエの稚貝を、漁協や漁業集落に提供するとともに、放流効果を確認するために混獲調査を行い資源の維持増大に寄与した。（アワビ生産205,290個、出荷100,500個 サザエ生産28,000個、出荷26,000個）</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・磯焼けが深刻な状況にあるため、種苗放流が資源の増加に必ずしも繋がっていないが、資源の維持のためにも放流が欠かせない。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協や漁業集落の要望に沿う形で種苗生産ができるように努力するとともに、磯焼け対策のために母藻や種系の生産力向上も検討していく。</li> </ul>  |               |         |
| 2次評価 | <p>○藻場再生や増殖場造成等による資源保護育成、漁業者による一層の漁業秩序形成と漁業監視体制の強化推進</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の深刻な磯焼け対策として、海域を網で仕切り食植性動植物からの食害を防止することにより海藻の生産・育成を図り、増殖した海藻をこれまでに整備した藻場礁や磯焼け海域に移植するため、藻場造成施設を管理する町栽培漁業推進協議会へ支援を行った。また、中通島、若松島、及び五島市奈留島の周辺海域で発生する密漁を防止するため、上五島地区の7漁協と奈留町漁協に所属する14隻の漁船を監視船とし、県、五島市、本町の連携による広域的な漁場監視、通報体制強化を確立して、漁場監視体制の整備を図り、広域的な自警活動及び通報体制を強化し、漁業監視体制の整備を図っている。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度より、監視体制強化のため監視船・監視員の固定化を実施しており、地域内関係者による密漁は殆どないと考えるが、域外関係者による密漁の可能性は残っているので、引き続き監視を行う必要がある。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協単位に設立される予定の藻場見守り隊や、離島漁業集落事業及び漁場監視連絡会が実施する密漁監視等を通じて漁業秩序形成、監視体制を強化していく。</li> </ul> |               |         |
|      | <p>種苗放流については、漁業者等と連携し、魚種の選定や適正な放流サイズ、放流適地を検討し、効果的な放流手法による資源量の確保に努めていくこと。また、磯焼け対策については、漁業集落が行う食害生物の除去や環境、生態系の保全に関する調査、研究など一体的に支援を行い、資源を増大させる栽培漁業の取り組みを行っていくこと。</p>  |               |         |

|      |  |            |         |
|------|--|------------|---------|
| 基本施策 | 2-1-③  | 水産業基盤整備の推進 |         |
| 主管課名 | 水産課  | 所属長名       | 石 司 泰 栄 |
| 関係課名 |  |            |         |
| 1次評価 | 基本施策の評価  |            |         |
|      | <p>○安全確保及び漁労作業の軽減化、施設の延命化など施設保全対策推進</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小串漁港に安全対策と利便性の向上を図るため、照明灯を設置した。また、宿ノ浦漁港の用地の利便性の向上のため、用地舗装を実施し、漁港施設等の改良や改修による安全確保及び漁労作業の軽減化、施設の延命化などを図った。また、水銀灯や標識等の早期修繕に努めた。</li> <li>・土井ノ浦漁港において、漁港施設の安全を確保するため、車止め294.0mを整備しました。併せてコーナープレートを158.3m整備した。</li> <li>・町内5漁港（奈摩漁港・上五島漁港・奈良尾漁港・鯛ノ浦漁港・丸尾漁港）における県営事業の地元負担金として20,262千円を支出し、漁港における安全確保と漁業生活環境の向上を図った。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化等施設の老朽化が急速に進んでいるため、対策に必要な予算・財源の確保が課題となる。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港施設等の改良や改修については、地域の要望や安全性の調査結果等に基づき計画的に、また緊急度に応じて対応して行く。</li> </ul> |            |         |
|      | <p>○魚類等の生活史を反映した漁場の創出・環境保全</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藻場造成を図るため、有川漁場において藻場礁12基の製作・設置を行い、小串漁場においては基礎工3,250m<sup>3</sup>を整備し、漁場環境改善のための藻場礁や魚礁整備を行った。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚礁に対する魚類の蝸集行動などに関する情報収集を行い、魚礁の構造、配置を適切に行っていく必要がある。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国県等の専門機関との連携や指導を受けながら、現状の漁場環境に沿った漁場の創出・環境保全に努めていく。</li> </ul>  |            |         |
| 2次評価 | 1次評価のとおりとする。国の動向を注視しながら、県及び関係機関と連携を図り、予算確保に努めていくこと。  |            |         |

|       |   |             |         |
|-------|---|-------------|---------|
| 基本施策  | 2-1-④   | 漁業経営の近代化の促進 |         |
| 主管課名  | 水産課   | 所属長名        | 石 司 泰 栄 |
| 関係課名  |   |             |         |
| 1 次評価 | 基本施策の評価   |             |         |
|       | <p>○漁業協同組合及び中核的漁業者の施設整備支援、漁業近代化資金利子補給の拡大、組織・機能強化による漁業者の経営安定と生産活動の活性促進</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備や機器購入を計画した漁協等に対し、県等関係機関と協力して必要な助成を行った。また、漁業経営の近代化のための資金を借り入れた漁業者等に対する借り入れ利息の一部助成等を行った。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去に整備した水産関係の設備・機器が老朽化等による更新の時期を迎えているが、単なる更新の場合には助成が受けられない場合があるなど、経営基盤が厳しい中その財源確保が課題となる。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水産関係の設備・機器の老朽化等に伴う更新や改良については、各種制度の利活用と財源確保に努め、漁業者の経営安定と生産活動の促進に努めて行く。</li> </ul> |             |         |
|       | <p>○関係団体・漁協・生産者と一体となった競争力の高い産地づくりと養殖業の育成</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内漁業者の経費削減・競争力強化のために町独自の漁船用燃油の助成と、水産物の移出費及び養殖魚用エサの移入費について助成を行った。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漁業関係者が燃油代や輸送コストの助成がある内に競争力強化のための方策として、機器の省力化や生産量の増大、販路拡大等の努力を行う必要がある。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漁獲物の出荷方法の工夫や販路の拡大。国内における市場の縮小と国外における市場の拡大に対応できる養殖漁業の育成にむけ、国・県の各種制度の活用や協力を得て行く。</li> </ul>   |             |         |
|       | <p>○漁村の経済的中核組織である漁協の強化を図るための漁協再編</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経営不振により解散を決めた漁協の組合員の受け入れについて、県・系統等と協力して近隣漁協の理解と協力を得るべく努力した結果、組合員の受け入れと漁業権の取得が実現できた。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漁獲量の減少、漁業所得の減少等のために漁業者の後継者不足、高齢化が深刻となっており、法定解散も考えられる漁協も存在する。経営基盤強化のためにも合併による漁協の組織強化が早急に求められている。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各漁協が抱える課題のため、合併が進んでいない。系統等関係機関の理解と協力が必要であり、国・県とともに漁協の再編・合併に向けた環境整備に努めていく。</li> </ul>                                 |             |         |
| 2 次評価 | <p>基幹産業である水産業を健全な産業として発展させるためには、経営基盤の強化が重要であるため、漁協及び漁業者等と連携強化を図り、漁業生産施設等の中期的改修計画を策定し、計画的な事業の実施に努め、引き続き、国、県の補助事業を活用しながら、水産関係団体の支援を行い、経営基盤の安定と生産活動の活性化を図っていくこと。</p>   |             |         |

|      |  |                    |         |
|------|--|--------------------|---------|
| 基本施策 | 2-1-⑤  | 地域資源の活用による漁村地域の活性化 |         |
| 主管課名 | 水産課  | 所属長名               | 石 司 泰 栄 |
| 関係課名 |  |                    |         |
| 1次評価 | 基本施策の評価  |                    |         |
|      | <p>○新鮮な魚介類などを用いた特産品づくりやブランド化、未利用・低利用魚等の資源を原料とした加工による高付加価値化等と販売力の強化推進</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町としての具体的な支援実績はないが、町内の加工業者がそれぞれ品評会等に応募出品し、農林水産大臣賞をはじめとする賞を獲得するなど、品質向上の努力を行っている。また、長崎俵物の認定を受けるなどブランド化に努めている。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の加工業者は漁協を除くと零細業者であるため、経営基盤が脆弱である。また、水産資源の減少により技術があっても原魚の確保が難しく規模拡大ができない現状がある。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未利用・低利用魚を原料とした新製品の開発や機器の整備等を希望する業者等があった場合は、国・県等関係機関と協力して可能な助成を行っていく。</li> </ul> |                    |         |
|      | <p>○漁業者の技術・体験施設等を活かしたブルーツーリズムを推進した漁村地域活性化、安全で快適な生活環境をつくるための漁業集落の生活環境整備</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光物産協会や漁協独自の体験メニューとして、定置網漁業体験、養殖給餌体験、海産物加工・魚捌き体験等に取り組んでいるほか、上五島町漁協女性部の活動による島へのツアー客などを対象に「漁師の朝飯」を提供している。</li> </ul> <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光物産協会とタイアップした形での総合的な情報発信を行っているものの、インパクトが弱く、「漁師の朝飯」以外の体験メニューについては思ったような集客効果は得られていない感がある。</li> </ul> <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光物産協会や宿泊施設、農林業など関係分野と連携して、地域資源を生かした魅力のある体験メニュー作りに取り組んでいく。</li> </ul>   |                    |         |
| 2次評価 | <p>新技術の開発、導入による新製品の開発や、消費者ニーズに基づく高度化、安全性の確保及び未利用魚の有効利用を推進するためのセミナーや講演会など、水産業者の加工技術の向上を図っていくこと。また、漁業体験メニューについては、既存のメニューにとらわれず、島の日常を見せる「漁村生活」を資源とした体験など、漁業集落や観光関係事業者等と連携し、先進事例を参考にしながら見直しを行っていくこと。</p>   |                    |         |

成果指標等の達成状況

| 指標名                            |     | 基準値   | H27             | H28 | H29 | H30 | H31   |
|--------------------------------|-----|-------|-----------------|-----|-----|-----|-------|
| 種苗放流（主要3種<br>（アワビ、カサゴ、ク<br>エ）） | 目標  | -     | -               | -   | -   | -   | 240千匹 |
|                                | 実績  | 311千匹 | 195千匹           | -   | -   | -   | -     |
|                                | 達成率 | -     | 81.3%<br>(100%) | -   | -   | -   | -     |
| ブランド化品目                        | 目標  | -     | -               | -   | -   | -   | 13品目  |
|                                | 実績  | 10品目  | 9品目             | -   | -   | -   | -     |
|                                | 達成率 | -     | 0%<br>(0%)      | -   | -   | -   | -     |
| 漁業担い手確保                        | 目標  | -     | -               | -   | -   | -   | 12人   |
|                                | 実績  | 8人    | 8人              | -   | -   | -   | -     |
|                                | 達成率 | -     | 0%<br>(0%)      | -   | -   | -   | -     |
| 藻場の造成                          | 目標  | -     | -               | -   | -   | -   | 10箇所  |
|                                | 実績  | 5箇所   | 5箇所             | -   | -   | -   | -     |
|                                | 達成率 | -     | 0%<br>(0%)      | -   | -   | -   | -     |

施策事業の進捗状況

2-1-① 漁業の将来を担う人材の育成

| No. | 事業名・担当課・事業目的・概要   | 区分           | 平成27年度   | 平成28年度                        |  |
|-----|---|--------------|--|-------------------------------|--|
| 1   | <p>(事業名)</p> <p>漁業就業者確保育成総合対策事業</p> <p>【水産課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>漁業技術の習得等を実施する新規漁業者に対する生活費や資材購入費の助成と指導者に対する謝礼金の助成を行い、漁業後継者の育成・確保を図る。</p> <p>後継者育成補助事業(21世紀の漁業担い手確保推進事業)を平成27年度より「漁業就業者確保育成総合対策事業」に変更</p> <p>(事業概要)</p> <p>(技術習得支援事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漁家研修を受ける期間中の生活費、保険加入料、漁業資材購入等の研修に必要な経費を助成する。</li> </ul> <p>(漁船取得リース事業・小型漁船リース事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規漁業就業者の経営開始に必要な漁船(船体に装備された機関、航行機器、漁労設備及び営漁計画に必要な漁具を含む。)を導入しようとする場合の経費を助成する。</li> </ul> <p>(定着促進研修事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漁業経営を開始した者の技術向上若しくは漁業種類の転換や多角化による経営安定のための研修などの実施に要する経費を助成する。</li> </ul> | 実施年度         | 平成27年度～  |                               |  |
|     |   | 成果指標         | 漁業担い手確保  |                               |  |
|     |   | 目標値          | 15人  | 15人                           |  |
|     |   | 実績値          | 5人   |                               |  |
|     |   | 達成率          | 33.4%  |                               |  |
|     |   | 決算(見込)額      | 6,428千円  |                               |  |
|     |   | 当該年度執行率      | 100%   |                               |  |
|     |   | 成果指標及び目標値の説明 | まち・ひと・しごと創生総合戦略において、新規雇用者数を重要業績評価指標(KPI)としており、水産業において事業による新規就業者数を15人と設定している。   |                               |  |
|     |   | 取組実績、成果・課題等  | <p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定着促進研修事業 1名 助成金：896千円</li> <li>技術習得研修事業 4名 助成金：6,650千円</li> </ul> <p>(成果・課題等)</p> <p>漁業が継続していけるだけの漁業所得の確保と、町外出身者があった場合の居宅の確保が課題となる。</p> | <p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p> |  |

2-1-② 水産資源の維持と里海の再生

| No. | 事業名・担当課・事業目的・概要  | 区分           | 平成27年度  | 平成28年度                        |  |
|-----|--|--------------|---|-------------------------------|--|
| 1   | <p>(事業名)</p> <p>離島漁業再生支援交付金事業</p> <p>【水産課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>離島漁業の再生を図るため、漁場の生産力向上のための取組みや漁業の再生のための実践的な取組みを行う。</p> <p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漁場の生産力の向上のための取組み(種苗放流、漁場の管理・改善、産卵場育成場の整備、漁場監視等)</li> <li>漁業の再生のための実践的な取組み(新たな漁法、新規漁業・養殖業着業、販路拡大)</li> </ul> | 実施年度         | 平成17年度～平成31年度   |                               |  |
|     |  | 成果指標         | 属地陸揚額(年間)   |                               |  |
|     |  | 目標値          | 3,692百万円(H31)   | 3,692百万円(H31)                 |  |
|     |  | 実績値          | 4,760百万円(H26)   |                               |  |
|     |  | 達成率          | 128.8%  |                               |  |
|     |  | 決算(見込)額      | 129,920千円   |                               |  |
|     |  | 当該年度執行率      | 100%  |                               |  |
|     |  | 成果指標及び目標値の説明 | まち・ひと・しごと創生総合戦略において、属地陸上額(年間)を重要業績評価指標(KPI)としている。(漁港港勢調査の集計作業が翌年度行われ、確定後、製本されるのが、翌々年度の夏頃となるため、実績値については、1年遅れとなる。)  |                               |  |
|     |  | 取組実績、成果・課題等  | <p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漁場の生産力の向上のための取組み(種苗放流、ウニ駆除、イカ柴設置、密漁監視など)</li> <li>漁業の再生のための実践的な取組み(貝養殖、海藻の増・養殖、タイラバ・曳縄・活きエサ釣りなど)</li> </ul> <p>(成果・課題等)</p> <p>26年の水揚げ額が増加した要因はクロマグロ養殖の伸びによるものである。</p> | <p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p> |  |

2-1-② 水産資源の維持と里海の再生（つづき）

| No.         | 事業名・担当課・事業目的・概要  | 区分                 | 平成27年度  | 平成28年度 |
|-------------|--|--------------------|---|--------|
| 2           | (事業名)<br>栽培漁業センターフェンス整備事業<br>【水産課】<br>(事業目的)<br>栽培漁業センターのフェンスが塩害と経年劣化により倒壊の恐れがある。また、当地区は世界遺産登録予定地でもあるため、安全確保と景観向上に配慮した整備を行う。<br>(事業概要)<br>フェンス整備 1.0式 L=126.6m | 実施年度               | 平成27年度  |        |
|             |  | 成果指標               | 事業進捗率 (%)                                       |        |
|             |  | 目標値                | 100%  |        |
|             |  | 実績値                | 100%  |        |
|             |  | 達成率                | 100%  |        |
|             |  | 決算(見込)額            | 3,599千円   |        |
|             |  | 当該年度執行率            | 100%  |        |
|             |  | 成果指標及び目標値の説明       | 事業が完了することにより安全確保と景観向上が図られるため、事業進捗率を目標値とした。      |        |
| 取組実績、成果・課題等 | (取組実績)<br>フェンスL=126.6m<br>(成果・課題等)<br>安全確保と世界遺産登録に向けた景観向上が図られた。  | (取組実績)<br>(成果・課題等) |   |        |
| 3           | (事業名)<br>種苗放流補助事業<br>【水産課】<br>(事業目的)<br>種苗放流により水産資源の維持増大を図る。<br>(事業概要)<br>町内漁協が実施する種苗放流事業に対する助成<br>・アワビ稚貝放流<br>・サザエ稚貝放流  | 実施年度               | 平成17年度～   |        |
|             |  | 成果指標               | 種苗放流数   |        |
|             |  | 目標値                | 240千尾   |        |
|             |  | 実績値                | 195千尾   |        |
|             |  | 達成率                | 81%   |        |
|             |  | 決算(見込)額            | 1,664千円   |        |
|             |  | 当該年度執行率            | 100%  |        |
|             |  | 成果指標及び目標値の説明       | 当該年度に町内において放流された種苗の数<br>(離島漁業再生支援交付金事業、漁協単独事業他) |        |
| 取組実績、成果・課題等 | (取組実績)<br>アワビ稚貝42,500個 1,326千円<br>サザエ稚貝26,000個 338千円<br>(成果・課題等)<br>漁協が計画した稚貝の放流は実施できた。漁獲量についてはここ3～4年ほぼ横ばいであり、資源の増加が図られない。                                     | (取組実績)<br>(成果・課題等) |   |        |



2-1-② 水産資源の維持と里海の再生（つづき）

| No.         | 事業名・担当課・事業目的・概要  | 区分                            | 平成27年度   | 平成28年度        |
|-------------|--|-------------------------------|--|---------------|
| 4           | <p>(事業名)</p> <p>網仕切り式藻場造成施設維持管理費補助事業</p> <p>【水産課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>藻場の回復のためには母藻の供給拠点の整備が必要であるため、仕切り網により食害を防止した海域において海藻の増殖を図る。このために施設の維持管理を適切に行う。</p> <p>網仕切り式藻場造成実証試験補助事業を27年度より「網仕切り式藻場造成施設維持管理費補助事業」に変更</p> <p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母藻・種系設置</li> <li>・仕切り網交換清掃</li> <li>・食害動物駆除</li> </ul> | 実施年度                          | 平成27年度～平成30年度  |               |
|             |  | 成果指標                          | 海藻生産量  |               |
|             |  | 目標値                           | 14トン   |               |
|             |  | 実績値                           | 1.4トン  |               |
|             |  | 達成率                           | 10%  |               |
|             |  | 決算（見込）額                       | 2,997千円  |               |
|             |  | 当該年度執行率                       | 100%   |               |
|             |  | 成果指標及び目標値の説明                  | 施設における年間の海藻の生産量を目標とした  |               |
| 取組実績、成果・課題等 | <p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母藻・種系設置（アマモ移植、ヒジキ、ホンダワラ類、クロメ、ワカメ設置）</li> <li>・網交換清掃 5回</li> <li>・食害動物駆除 1回（2日）</li> </ul> <p>(成果・課題等)</p> <p>磯焼け海域に移植できるほどの海藻の増殖ができなかった。また、維持管理が十分にできなかった。</p>   | <p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p> |  |               |
| 5           | <p>(事業名)</p> <p>磯焼け対策のための実証実験委託事業</p> <p>【総合政策課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>磯焼けの大きな要因として考えられている貧栄養化について、栄養塩添加による藻場再生の実証実験により、藻場再生に取り組み、将来の漁業生産力の向上につなげたい。</p> <p>(事業概要)</p> <p>阿瀬津の海上に実験用筏を設置し、①同町汚泥再生処理センター由来の栄養塩施肥による海藻生長の促進について研究し、②赤潮などを引き起こさない、海洋施肥方法の安全性、ならびに③本海域での藻場再生において、栄養塩施肥以外に考慮すべき事項について検討した。</p>                       | 実施年度                          | 平成27年度～  |               |
|             |  | 成果指標                          | 属地陸揚額（漁港港勢調査）  |               |
|             |  | 目標値                           | 3,692百万円（H31）  | 3,692百万円（H31） |
|             |  | 実績値                           | 4,757百万円（H26）  |               |
|             |  | 達成率                           | 128.8%   |               |
|             |  | 決算（見込）額                       | 5,993千円  |               |
|             |  | 当該年度執行率                       | 100%   |               |
|             |  | 成果指標及び目標値の説明                  | 磯焼け解消により水揚が増えることを想定し、属地陸揚額を成果指標としている。（漁港港勢調査の集計作業が翌年度行われ、確定後、製本されるのが、翌々年度の夏頃となるため、実績値については、1年遅れとなる。） |               |
| 取組実績、成果・課題等 | <p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実証実験日数 365日</li> <li>・サンプル調査回数 55回</li> </ul> <p>(成果・課題等)</p> <p>実証実験であるため、町内全域にわたる磯焼け対策には進展していない。また、実際の事業化にはリントルの製造が必要であり、製造設備の整備が必要になる。</p>  | <p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p> |  |               |

2-1-③ 水産業基盤整備の推進

| No.         | 事業名・担当課・事業目的・概要  | 区分                            | 平成27年度   | 平成28年度 |
|-------------|--|-------------------------------|--|--------|
| 1           | <p>(事業名)<br/>奈摩地区水産物荷捌所・漁民研修集会施設屋上防水改修事業<br/>【水産課】</p> <p>(事業目的)<br/>本施設は、昭和61年に建設し28年が経過している。そのため、老朽化により屋上の防水シートが劣化し雨漏りしている状況である。本施設は、地区住民の研修集会施設であり、災害発生時の自主避難場所となっていることから、防水工事を施工し、施設の機能確保を図る。</p> <p>(事業概要)<br/>屋上防水改修1.0式<br/>A = 205.7㎡</p>    | 実施年度                          | 平成27年度   |        |
|             |  | 成果指標                          | 事業進捗率 (%)  |        |
|             |  | 目標値                           | 100%   |        |
|             |  | 実績値                           | 100%   |        |
|             |  | 達成率                           | 100%   |        |
|             |  | 決算(見込)額                       | 2,320千円  |        |
|             |  | 当該年度執行率                       | 100%   |        |
|             |  | 成果指標及び目標値の説明                  | 事業が完了することにより健全な施設機能の回復が図られるため、事業進捗率を目標値とした。              |        |
| 取組実績、成果・課題等 | <p>(取組実績)<br/>防水工 A = 205.7㎡</p> <p>(成果・課題等)<br/>雨漏りが無くなり、施設機能の回復が図られた。</p>  | <p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p> |  |        |
| 2           | <p>(事業名)<br/>白浜地区野営場等臨海休養施設防護柵設置事業<br/>【水産課】</p> <p>(事業目的)<br/>本施設は、野営場として整備されているが、有害鳥獣の侵入により施設が荒廃状況にある。また、本地区は世界遺産登録予定地であるため、景観が重視されている。防護柵を設置し、施設の荒廃防止と景観向上を図っていく。</p> <p>(事業概要)<br/>防護柵設置工 L = 101.5m<br/>・フェンス L = 95.5m<br/>・転落防止柵 L = 6.0m</p> | 実施年度                          | 平成27年度   |        |
|             |  | 成果指標                          | 事業進捗率 (%)  |        |
|             |  | 目標値                           | 100%   |        |
|             |  | 実績値                           | 100%   |        |
|             |  | 達成率                           | 100%   |        |
|             |  | 決算(見込)額                       | 1,890千円  |        |
|             |  | 当該年度執行率                       | 100%   |        |
|             |  | 成果指標及び目標値の説明                  | 事業が完了することにより有害鳥獣の侵入を防止し施設の荒廃防止と景観向上が図られるため、事業進捗率を目標値とした。 |        |
| 取組実績、成果・課題等 | <p>(取組実績)<br/>防護柵設置 L = 101.5m</p> <p>(成果・課題等)<br/>施設の荒廃防止と世界遺産登録に向けた景観向上が図られた。</p>  | <p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p> |  |        |

2-1-③ 水産業基盤整備の推進（つづき）

| No.          | 事業名・担当課・事業目的・概要  | 区分           | 平成27年度   | 平成28年度             |               |
|--------------|--|--------------|--|--------------------|---------------|
| 3            | (事業名)<br>漁村再生交付金事業（漁場整備事業）<br>【水産課】<br>(事業目的)<br>藻場の造成を行うことにより、水産資源の回復を図り、漁場の生産力向上と漁獲量の増大により、漁業経営の安定を図る。<br>(事業概要)<br>藻場造成 5箇所<br>奈摩地区 2箇所<br>有川地区 1箇所<br>小串地区 1箇所<br>若松地区 1箇所<br>海藻増殖 5箇所<br>漁場造成 1箇所 | 実施年度         | 平成24年度～  |                    |               |
|              |  | 成果指標         | 藻場・漁場造成箇所数   |                    |               |
|              |  | 目標値          | 6箇所  | 6箇所                |               |
|              |  | 実績値          | 3箇所  |                    |               |
|              |  | 達成率          | 50%  |                    |               |
|              |  | 決算（見込）額      | 44,400千円   |                    |               |
|              |  | 当該年度執行率      | 100%   |                    |               |
|              |  | 成果指標及び目標値の説明 | 計画期間内における藻場礁の整備箇所数   |                    |               |
|              |  | 取組実績、成果・課題等  | (取組実績)<br>有川漁場藻場礁設置 1.0式<br>小串漁場藻場礁造成 1.0式<br>奈摩漁場海藻増殖 1.0式<br>若松漁場環境調査 1.0式<br>(成果・課題等)<br>計画された藻場礁の整備が図られた。海藻の増殖・繁茂を図るための適切な維持管理。  | (取組実績)<br>(成果・課題等) |               |
|              |  | 4            | (事業名)<br>漁村再生交付金事業（漁港施設整備事業）<br>【水産課】<br>(事業目的)<br>小串漁港の有効な施設整備により安全で快適な漁業地域の形成を諮ることを目的とする。効果として、漁獲物の陸揚げ時間・出漁準備時間の短縮、安全性の向上を図る。<br>(事業概要)<br>小串漁港施設整備<br>-2.5m物揚場（改良）L=76.0m<br>浮棧橋 1基<br>-2.0m物揚場（改良）L=45.0m<br>中防波堤（撤去）L=38.0m<br>道路 L=48.0m | 実施年度               | 平成24年度～平成28年度 |
| 成果指標         | 事業進捗率（事業費ベース）  |              |  |                    |               |
| 目標値          | 100%   |              |  |                    |               |
| 実績値          | 90%  |              |  |                    |               |
| 達成率          | 90%  |              |  |                    |               |
| 決算（見込）額      | 183,467千円  |              |  |                    |               |
| 当該年度執行率      | 100%   |              |  |                    |               |
| 成果指標及び目標値の説明 | 事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。   |              |  |                    |               |
| 取組実績、成果・課題等  | (取組実績)<br>-2.5m物揚場（改良）L=76.0m<br>浮棧橋 1.0式<br>中防波堤（撤去）1.0式<br>道路 L=48.0m<br>(成果・課題等)<br>漁獲物の陸揚げ・選別の作業がスムーズにでき、作業の効率化が図られた。  |              |  | (取組実績)<br>(成果・課題等) |               |

2-1-③ 水産業基盤整備の推進（つづき）

| No. | 事業名・担当課・事業目的・概要   | 区分           | 平成27年度   | 平成28年度                        |          |
|-----|---|--------------|--|-------------------------------|----------|
| 5   | <p>(事業名)</p> <p>強い水産業づくり交付金事業</p> <p>【水産課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>漁港区域内の漁港施設において、車両の車止め未設置箇所岸壁等が相当量あり漁業者をはじめ、漁港利用者が海面へ飛び込む事故が多発し安全を確保できていない状況となっている。岸壁等に車止めを設置することにより、漁業活動の安心と安全を図る。</p> <p>(事業概要)</p> <p>対象漁港 20漁港<br/>車止め整備計画総延長 L=6,565m</p> | 実施年度         | 平成27年度～  |                               |          |
|     |   | 成果指標         | 車止め設置総延長   |                               |          |
|     |   | 目標値          | L=6,565.0m   | L=6,565.0m                    |          |
|     |   | 実績値          | L=294.0m   |                               |          |
|     |   | 達成率          | 4.0%   |                               |          |
|     |   | 決算（見込）額      | 15,196千円   |                               |          |
|     |   | 当該年度執行率      | 100%   |                               |          |
|     |   | 成果指標及び目標値の説明 | 海面転落防止として車止めを設置し、漁業活動の安心を安全性の向上を図るため、整備計画の総延長を目標値とした。                          |                               |          |
|     |   | 取組実績、成果・課題等  | (取組実績)   | 車止め設置 L=294.0m                | (取組実績)   |
|     |   |              | (成果・課題等)   | 計画どおり車止めを設置し、安全性の向上を図ることが出来た。 | (成果・課題等) |
| 6   | <p>(事業名)</p> <p>道土井漁港（真手ノ浦地区）集落道整備事業</p> <p>【水産課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>漁港背後集落地内に道路の新設を行い、漁業活動の効率性、漁業者の生活環境の向上を図り安全で快適な漁業地域の形成を目的として、漁業活動の高利化、生活福祉の向上に寄与する。</p> <p>(事業概要)</p> <p>集落道整備 L=82.1m W=3.0m</p>                                      | 実施年度         | 平成24年度～  |                               |          |
|     |   | 成果指標         | 事業進捗率（事業費ベース）  |                               |          |
|     |   | 目標値          | 100%   |                               |          |
|     |   | 実績値          | 49%  |                               |          |
|     |   | 達成率          | 49%  |                               |          |
|     |   | 決算（見込）額      | 13,770千円   |                               |          |
|     |   | 当該年度執行率      | 100%   |                               |          |
|     |   | 成果指標及び目標値の説明 | 事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。 |                               |          |
|     |   | 取組実績、成果・課題等  | (取組実績)   | 集落道 L=0.0m（23.6m）             | (取組実績)   |
|     |   |              | (成果・課題等)   | 計画どおり事業の進捗が図られた。              | (成果・課題等) |

2-1-③ 水産業基盤整備の推進（つづき）

| No.         | 事業名・担当課・事業目的・概要   | 区分                            | 平成27年度   | 平成28年度 |
|-------------|---|-------------------------------|--|--------|
| 7           | <p>(事業名)<br/>漁港事業埋立竣功認可申請図面作成業務委託事業<br/>【水産課】</p> <p>(事業目的)<br/>これまでの漁港事業の完成に伴い、埋立竣功認可申請が行われていない漁港区域における申請を行い、未竣功を解消し、円滑な登記事務を改革的に行う必要がある。</p> <p>(事業概要)<br/>漁港数11漁港<br/>建設省海岸1箇所<br/>竣功認可申請件数31件</p>     | 実施年度                          | 平成24年度～  |        |
|             |   | 成果指標                          | 竣功認可申請件数   |        |
|             |   | 目標値                           | 31件  |        |
|             |   | 実績値                           | 9件   |        |
|             |   | 達成率                           | 29%  |        |
|             |   | 決算（見込）額                       | 5,076千円  |        |
|             |   | 当該年度執行率                       | 100%   |        |
|             |   | 成果指標及び目標値の説明                  | 未竣功を解消し、円滑な登記事務を行うため、埋立竣功認可申請件数を目標値とした。  |        |
| 取組実績、成果・課題等 | <p>(取組実績)<br/>竣功認可申請件数 2件</p> <p>(成果・課題等)<br/>竣功認可申請書を提出し登記事務を円滑に行う。</p>  | <p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p> |  |        |
| 8           | <p>(事業名)<br/>桐古里漁港消波ブロック設置事業<br/>【水産課】</p> <p>(事業目的)<br/>消波ブロック等を設置し町道と周辺住宅を波浪から被害を防ぐ。</p> <p>(事業概要)<br/>異常気象（台風）における波浪による土砂等の巻揚げを、消波ブロック等を設置して被害を防ぐ。<br/>・平成27年度 パラペットL=20.0m<br/>・平成28年度 消波ブロック181個</p> | 実施年度                          | 平成27年度～平成28年度  |        |
|             |   | 成果指標                          | 事業進捗率（事業費ベース）  |        |
|             |   | 目標値                           | 100%   |        |
|             |   | 実績値                           | 32%  |        |
|             |   | 達成率                           | 32%  |        |
|             |   | 決算（見込）額                       | 6,837千円  |        |
|             |   | 当該年度執行率                       | 100%   |        |
|             |   | 成果指標及び目標値の説明                  | 事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。 |        |
| 取組実績、成果・課題等 | <p>(取組実績)<br/>パラペットL=20mを施行。</p> <p>(成果・課題等)<br/>波の道路侵入を防止した。次年度に消波ブロックを181個設置することで、大波の衝撃を分散し、被害防止効果が向上する。</p>  | <p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p> |  |        |

2-1-③ 水産業基盤整備の推進（つづき）

| No.         | 事業名・担当課・事業目的・概要  | 区分   | 平成27年度  | 平成28年度 |
|-------------|--|--|---|--------|
| 9           | (事業名)<br>崎浦漁港費用対効果分析調査事業<br>【水産課】<br>(事業目的)<br>漁村再生事業により浮体式係船岸の整備を計画し、漁港事業の費用対効果を分析するものである。<br>(事業概要)<br>費用対効果分析調査 1.0式  | 実施年度   | 平成27年度  |        |
|             |  | 成果指標   | 事業進捗率(%)  |        |
|             |  | 目標値  | 100%  |        |
|             |  | 実績値  | 100%  |        |
|             |  | 達成率  | 100%  |        |
|             |  | 決算(見込)額  | 1,620千円   |        |
|             |  | 当該年度執行率  | 100%  |        |
|             |  | 成果指標及び目標値の説明   | 事業が完了することにより次期計画について事業実施の必要性が図られるため、事業進捗率を目標値とした。 |        |
| 取組実績、成果・課題等 | (取組実績)   | 費用対効果分析 1.0式   | (取組実績)  |        |
|             | (成果・課題等)   | 費用対効果分析を実施し、効果があり、次期計画を実施し、安心・安全な漁業活動を形成することができる。            | (成果・課題等)  |        |
| 10          | (事業名)<br>水産物供給基盤機能保全事業<br>【水産課】<br>(事業目的)<br>漁港施設の長寿命化、更新コストの平準化・縮減を図る。漁港施設の管理を体系的に捉えた計画的な取り組みにより、施設の延命処置や予防措置を行うことにより、更新費用の低減、施設の長寿命化を図る。<br>(事業概要)<br>町管理漁港 21漁港の各施設 | 実施年度   | 平成23年度～   |        |
|             |  | 成果指標   | 町管理漁港数  |        |
|             |  | 目標値  | 21漁港  | 21漁港   |
|             |  | 実績値  | 15漁港  |        |
|             |  | 達成率  | 71%   |        |
|             |  | 決算(見込)額  | 33,082千円  |        |
|             |  | 当該年度執行率  | 100%  |        |
|             |  | 成果指標及び目標値の説明   | 漁港施設の長寿命化、更新コストの平準化・縮減を図るため、町管理漁港数を目標値とした。        |        |
| 取組実績、成果・課題等 | (取組実績)   | 調査3漁港、工事1漁港  | (取組実績)  |        |
|             | (成果・課題等)   | 既存施設の長寿命化等に向けた調査を実施し、状況の把握ができた。<br>道土井漁港の浮棧橋を延命措置として工事を実施した。 | (成果・課題等)  |        |

2-1-④ 漁業経営の近代化の促進

| No.          | 事業名・担当課・事業目的・概要   | 区分           | 平成27年度  | 平成28年度                        |         |
|--------------|---|--------------|---|-------------------------------|---------|
| 1            | <p>(事業名)<br/>漁船損害保険加入促進補助事業</p> <p>【水産課】</p> <p>(事業目的)<br/>漁船損害保険加入に係る保険料の一部を助成することにより、漁業者の負担を軽減し経営の安定に寄与する。</p> <p>(事業概要)<br/>漁船損害保険の保険料を一部助成する。</p> | 実施年度         | 平成17年度～   |                               |         |
|              |   | 成果指標         | 漁船損害保険加入隻数  |                               |         |
|              |   | 目標値          | 700隻  |                               |         |
|              |   | 実績値          | 684隻  |                               |         |
|              |   | 達成率          | 97.7%   |                               |         |
|              |   | 決算(見込)額      | 4,082千円   |                               |         |
|              |   | 当該年度執行率      | 100%  |                               |         |
|              |   | 成果指標及び目標値の説明 | 保険加入計画隻数を目標値として設定した。  |                               |         |
|              |   | 取組実績、成果・課題等  | <p>(取組実績)</p> <p>漁船損害保険加入促進補助<br/>補助件数 684件<br/>補助金額 4,082千円</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>漁業経営のコスト削減に寄与できたが、漁業者の減少防止になかなか繋がらない。</p>                 | <p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p> |         |
|              |   | 2            | <p>(事業名)<br/>漁業近代化資金利子補給補助事業</p> <p>【水産課】</p> <p>(事業目的)<br/>漁業者の経営コストを軽減させ漁業経営の安定に寄与する。</p> <p>(事業概要)<br/>漁業経営近代化資金制度に係る借り入れ金の利子の一部を助成する。</p> | 実施年度                          | 平成17年度～ |
| 成果指標         | 利子補給件数  |              |   |                               |         |
| 目標値          | 26件   |              |   |                               |         |
| 実績値          | 19件   |              |   |                               |         |
| 達成率          | 73.1%   |              |   |                               |         |
| 決算(見込)額      | 610千円   |              |   |                               |         |
| 当該年度執行率      | 100%  |              |   |                               |         |
| 成果指標及び目標値の説明 | 利子補給計画件数を目標値として設定した。  |              |   |                               |         |
| 取組実績、成果・課題等  | <p>(取組実績)</p> <p>漁業近代化資金利子補給補助<br/>19件 補助額 610千円</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>漁業経営のコスト削減に寄与できたが、漁業者の減少防止になかなか繋がらない。</p>                                     |              |   | <p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p> |         |

2-1-④ 漁業経営の近代化の促進（つづき）

| No.         | 事業名・担当課・事業目的・概要  | 区分           | 平成27年度                                | 平成28年度 |
|-------------|--|--------------|---------------------------------------|--------|
| 3           | <p>(事業名)<br/>有川地区レトルト機整備補助事業</p> <p>【水産課】</p> <p>(事業目的)<br/>魚を原料としたレトルト食品を生産販売しているが、製造機械を持たないため、製造を外注している。機械を整備することにより、外注経費を削減するとともに、未利用資源の活用により収益増に繋げる。</p> <p>(事業概要)<br/>レトルト機整備 1.0式<br/>過熱殺菌 50パック/時</p> | 実施年度         | 平成27年度                                |        |
|             |  | 成果指標         | レトルトパック製造数                            |        |
|             |  | 目標値          | 6,800個                                |        |
|             |  | 実績値          | 50個                                   |        |
|             |  | 達成率          | 1%                                    |        |
|             |  | 決算（見込）額      | 1,762千円                               |        |
|             |  | 当該年度執行率      | 100%                                  |        |
|             |  | 成果指標及び目標値の説明 | レトルトパック製造数<br>年間における計画製造数を目標値として設定した。 |        |
| 取組実績、成果・課題等 | (取組実績)   | (取組実績)       |                                       |        |
|             | (成果・課題等)   | (成果・課題等)     |                                       |        |
| 4           | <p>(事業名)<br/>新魚目地区加工パック機設置補助事業</p> <p>【水産課】</p> <p>(事業目的)<br/>既設機械が老朽化しているため、機械を更新することにより、作業の効率化を図り、収益増に繋げる。</p> <p>(事業概要)<br/>加工パック機整備 1.0式<br/>(あご粉末自動包装机)<br/>粉碎機、自動袋詰めシール機</p>                           | 実施年度         | 平成27年度                                |        |
|             |  | 成果指標         | 機械稼働日数                                |        |
|             |  | 目標値          | 104日                                  |        |
|             |  | 実績値          | 6日                                    |        |
|             |  | 達成率          | 6%                                    |        |
|             |  | 決算（見込）額      | 10,275千円                              |        |
|             |  | 当該年度執行率      | 100%                                  |        |
|             |  | 成果指標及び目標値の説明 | 機械稼働日数<br>年間の機械の稼働日数を目標値として設定した。      |        |
| 取組実績、成果・課題等 | (取組実績)   | (取組実績)       |                                       |        |
|             | (成果・課題等)   | (成果・課題等)     |                                       |        |



2-1-④ 漁業経営の近代化の促進（つづき）

| No.         | 事業名・担当課・事業目的・概要  | 区分                 | 平成27年度                | 平成28年度 |
|-------------|--|--------------------|-----------------------|--------|
| 5           | (事業名)<br>浜串地区製氷施設整備事業<br>【水産課】<br>(事業目的)<br>浜串漁協には製氷施設が整備されていないため、必要な氷は近隣の漁協から購入して組合員等に提供している。また、奈良尾漁協の解散決定により、奈良尾地区の漁業者の受入をお願いしており、それが実現した場合には必要な氷の量が増加するため、製氷施設の整備が必要である。<br>(事業概要)<br>製氷施設整備 1.0式<br>製氷能力 1トン/日 貯氷能力2トン | 実施年度               | 平成27年度                |        |
|             |  | 成果指標               | 製氷販売量                 |        |
|             |  | 目標値                | 46.1トン                |        |
|             |  | 実績値                | 13.9トン                |        |
|             |  | 達成率                | 30.2%                 |        |
|             |  | 決算（見込）額            | 3,100千円               |        |
|             |  | 当該年度執行率            | 100%                  |        |
|             |  | 成果指標及び目標値の説明       | 年間の製氷販売数量を目標値として設定した。 |        |
| 取組実績、成果・課題等 | (取組実績)<br>製氷施設 1.0式 H28.1に機器整備の完成となったため、達成率が低くなった。<br>(成果・課題等)<br>製氷施設の整備により近隣漁協まで氷を購入しに行く手間が省けた。また、現在のところ計画を上回る販売実績となっている。  | (取組実績)<br>(成果・課題等) |                       |        |

2-1-⑤ 地域資源の活用による漁村地域の活性化

| No.         | 事業名・担当課・事業目的・概要   | 区分                 | 平成27年度   | 平成28年度        |
|-------------|---|--------------------|--|---------------|
| 1           | (事業名)<br>漁船用燃油高騰対策事業<br>【水産課】<br>(事業目的)<br>漁船の燃料である燃油の高騰により出漁を抑える漁業者に対して、燃油購入に対する助成を行い、漁業者の経営の安定と水産物の安定供給を維持確保する。<br>(事業概要)<br>漁船用燃油であるA重油及び軽油の購入費に対し、1リットル当たり10円を助成する。 | 実施年度               | 平成25年度～平成28年度  |               |
|             |   | 成果指標               | 属地陸揚額（年間）  |               |
|             |   | 目標値                | 3,692百万円（H31）  | 3,692百万円（H31） |
|             |   | 実績値                | 4,760百万円（H26）  |               |
|             |   | 達成率                | 128.8%   |               |
|             |   | 決算（見込）額            | 20,989千円   |               |
|             |   | 当該年度執行率            | 100%   |               |
|             |   | 成果指標及び目標値の説明       | まち・ひと・しごと創生総合戦略において、属地陸上額（年間）を重要業績評価指標（KPI）としている。（漁港港勢調査の集計作業が翌年度行われ、確定後、製本されるのが、翌々年度の夏頃となるため、実績値については、1年遅れとなる。） |               |
| 取組実績、成果・課題等 | (取組実績)<br>補助申請件数 832件<br>補助実人数 304名<br>補助金額 20,989千円<br>(成果・課題等)<br>漁業者の経費削減に繋がり、経営の安定に一定寄与したが、漁業経営セーフティネット制度（国と漁業者の積立基金から高騰時に補填）への加入が進んでいない。                           | (取組実績)<br>(成果・課題等) |  |               |